

単独運転防止方式の概要

メーカー名	日立アプライアンス(株)	同様の方式を採用している形名	HSS-P40A
形名	HSS-P55A		

項目	受動的方式		能動的方式	
1. 方式名称	電圧位相跳躍検出方式		周波数シフト方式	
2. 基本原理	単独運転移行時に、インバータ発電出力と負荷の不均衡による電圧位相の急変を検出しゲートブロックする。		系統周波数に対して一定周期で出力周波数をシフトさせ、系統周波数に変化があればシフト方向を固定し、これが0.5秒以上継続したらゲートブロックおよび連系リレーを解列する。	
3. 回路方式 または 制御フロー	インバータ制御回路にて、系統電圧の位相変化が整定値を超えた場合、0.5秒以内にゲートブロックする。		インバータからの出力周波数に対し、あらかじめ一定周期で周波数バイアスを与えておく。 単独運転に移行し系統電圧位相の基準がなくなると、インバータからの出力周波数に応じた周波数変動が発生するため、これを検出し、周波数シフト方向を固定し、周波数シフト量を加算しインバータからの出力周波数を逸脱させる。 この状態が0.5秒以上継続したら、ゲートブロックおよび連系リレー解列を行う。	
4. 整定範囲	検出時間: 0.5秒以下 整定値: 3 ~ 12度 (3度刻み)	出荷時整定値 3度	検出時間: 0.5秒 ~ 1秒 整定値: ±0.1Hz (固定)	出荷時整定値 ±0.1Hz